

ロジバルエクスプレス

船橋・川崎で自転車の組み立て・配送業務を拡大

資格を持った専任スタッフが出荷前に安全性をチェック



組み立てて製品にして納品

パンダイロジバルの子会社のロジバルエクスプレス(本社・東京都葛飾区、馬場範夫社長)では、自転車の組み立て・配送業務を拡大する。カートン状態の自転車(7分組)をロジバ

ルの倉庫内で保管し、組み立てて製品(完組)の状態にして量販店や自転車専門店などに納品。自転車安全整備士・自転車技士による出荷前の安全性チェックも行う。現在は船橋営業所(千葉県船橋市)と川崎営業所(川崎市川崎区)で展開しているが、今後は関西圏をはじめ全国展開を目指す。

自転車は従来、カートン(7分組)の状態でもメーカーから店舗に納品され、店舗で組み立てることが多かった。自転車の販売チャネルの多様化に伴い、量販店などでは「完全に組み立てた状態で納品してほしい」との要望も増えており、組み立てと配送に課題を抱えているメーカー

は従来、カートン(7分組)の状態でもメーカーから店舗に納品され、店舗で組み立てることが多かった。自転車の販売チャネルの多様化に伴い、量販店などでは「完全に組み立てた状態で納品してほしい」との要望も増えており、組み立てと配送に課題を抱えているメーカー

立てられる。出荷時には緩衝材や養生を使用し、雨の日は店舗への納品時にもタイヤを地面に付けないなど細心の注意を払っている。

自転車は昨年の東日本大震災以降、いざという時の交通手段として注目され、スポーツ自転車、電動アシスト自転車なども人気が高まっている。一方、その物流業務は手間がかかり、とくに組み立てには専門知識やノウハウも必要で、消費者の事故を防ぐための安全性や品質が強く求められる。

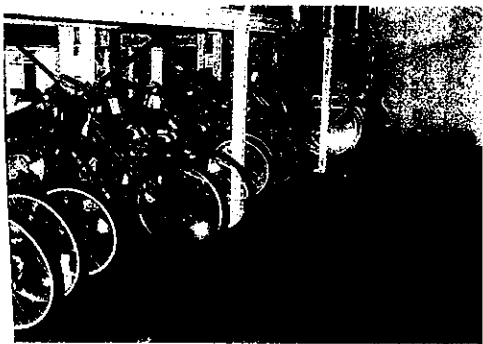
ロジバルエクスプレスでは一般社団法人自転車協会に物流会社として唯一加入。「自転車専用倉庫」、「組み立て資格を持ったスタッフに

も多い。

ロジバルエクスプレスでは自転車の配送では25年来の実績はあるが、外販も視野に自転車関連の業務を拡充。昨年からは、船橋、川崎の2拠点で引き取りから保管、組み立て、配送までを一括で受注できる体制を整えた。現在、船橋で9人、川崎で7人の専任スタッフが組み立てを担当している。

船橋営業所では、倉庫の1棟を自転車の専用倉庫とした。組み立ては細かい作業が多いため、今年の春に空調設備と空調効果を高めるビニールカーテン、より照度の高い照明を導入し、作業環境を改善。カートンを縦置きのまま1階から2階に移動させる、独自のガイド付きのベルトコンベアーを採用した。

組み立ては手作業が基本で、船橋で1時間あたり1人1・5〜2台、川崎で3〜4台を組み



倉庫1棟を専用化(船橋営業所)

よる組み立て」、「販売店への共同配送」を強みに「サイクルロジステック」をPRしている。自転車業務の全国展開のほか、パンダイロジバルの国際物流と連携し、部品輸入の物流なども積極的に受託したい考えだ。

なお、ロジバルエクスプレスではドライバーのキャリアプランとして3年前から「定年制」を導入している。ドライバーを定年した後、資格を取得して自転車の組み立てに携わっているスタッフもおり、自転車の組み立て業務は定年したドライバーの新たな活躍の場としても期待されている。